

RE-START

～気持ち新たに 前へ進もう！～



路上詩人こーた

松江YEG設立45周年記念式典・祝賀会の際、第34代から第39代会長に現役世代そして次世代に残したい想いをそれぞれ文字にさせていただき、路上詩人のこーた様に即興で一つの詩を書き上げていただいたものです。



令和4年度
松江商工会議所青年部
会長 秋鹿 司



「RE-START～気持ち新たに 前へ進もう！～」の
スローガンを掲げスタートした令和4年度ですが、
あっという間に1年が経ちました。

約2年間、コロナ禍のため綱領・指針に沿った活
動が十分に出来ず、会員同士の関係が希薄になっ
ている状況を打破するため、気持ち新たに前へ進む事
業に力を注いで参りました。また、松江YEG設立45
周年記念式典・祝賀会を、多くの御来賓・先輩方・
諸団体の皆様をお招きし開催できたことは、50周年
へ向けさらに前進する、良い区切りとなりました。

松江市に限らず多くの地方都市において、少子高
齢化や人口減少など課題が山積しています。「YEG
(商工会議所青年部)」は、地域を支える青年経済人
として、皆様に愛され必要とされる存在になれるよ
う、より一層努力していく所存です。今後とも皆様
方のご理解ご協力を賜りますよう心よりお願い申し
上げます。結びとなりますが、松江YEG全会員の尽
力に感謝し、挨拶とさせていただきます。



令和4年度
島根県商工会議所青年部連合会
会長 藤井 浩太郎



令和4年度県青連は『マインドイノベーション
～島根はひとつとなり挑戦しよう～』のスローガ
ンを掲げて活動して参りました。6月には松江YEG
の政策提言事例発表、グループディスカッションを
開催し、11月には日本YEG西村会長、中村専務理事
に政策提言やビジョンをテーマに貴重な講演をいた
だきました。翌年3月には島根県職員の皆様と地域
の未来に向け活発な意見交換会を目的とした「風会
議」(YEG会員と行政職員と意見交換会)を開催い
たしました。今年度は事業を通じて、行政、地域諸
団体、青年団体などと交流・連携をとることができ
ました。この様々な方々との交流が私たちにとって
より強い力となり、今後の地域の発展や自企業の繁
栄、今後の青年部活動でも大きな礎となり様々な可
能性を見出すことが出来ると感じています。

最後に、1年間県青連活動に深いご理解とご協
力を賜りました皆様方に紙面をお借りして感謝を申し
上げます。1年間誠に有難うございました。

松江商工会議所青年部 設立45周年記念式典・祝賀会



設立45周年を迎え、記念式典・祝賀会を9月17日(土)にホテル一畑にて執り行い、9月18日(日)に記念ゴルフコンペを開催いたしました。これまでの45年間を振り返り、歴代の先輩方へ感謝の気持ちを伝えることのできる事業となりました。詳細はホームページにも掲載しております。

記念誌・45年間のあゆみ



島根県商工会議所青年部連合会



県青連は、会員相互の連絡協調を図り、商工会議所事業との連携のもとに商工業の総合的な発達に資することを目的としています。県下8単会が順に主管し、令和4年度は松江が主管でした。「マインドイノベーション～島根はひとつとなり挑戦しよう～」のスローガンのもと、3回の連絡会議と総会、講演会、臨時役員総会、風会議、交流会が開催されました。



令和4年度
松江商工会議所青年部
専務理事 **藤本 真由**



秋鹿会長のもと専務理事の職を務めさせて頂き、力不足などところもあったかと思いますが、個人的にはとても有意義な時間を過ごさせて頂きました。会長、副会長のサポートをし、委員長を通じて各委員会との調整を行う。それに加え、自身の立場だから出来ることについてはSNS等で会内外に向けて情報発信を行うことを意識して活動しました。

各委員会が熟考を重ねた事業計画があることを前提とした上で、振り返ってみるとコロナ禍にあったこの3年の間に松江YEGとして状況に合わせて実践できる方法を考えて動いてきた実績(やめるという決断含む)のおかげで、令和4年度の運営は円滑に進めることができました。単年度制とはいえ45周年を迎えた実績を積み重ねたいです。今までの事業で成功、失敗、反省を踏まえてノウハウを蓄えて次へ向かっていく、そしてその経験を自社や自身に還元する。自分自身もまた、今年の経験を今後のYEG活動や事業所活動に活かしたいと思います。



令和4年度 日本YEG
出向理事(島根県連代表理事)
堰 大輔



令和4年度日本YEGでは、「YEG STORY～我ら礎。共に創ろう、継ぎ、紡ぎ、繋げる未来への道導～」をスローガンに、「全ては単会のために」という中期ビジョンの集大成として、様々な事業を行いました。また、全国の代表理事とともに新たな中期ビジョン策定に携わり、「日本YEG中期ビジョン2023-2027『先駆け-SAKIGAKE-』」を発表しました。

島根県連での講演会では、日本YEG西村会長や中村専務など全国から多くの仲間に来ていただきました。また、県内他単会での事業の橋渡しなども出来ました。情報だけでなく人的交流へと発展させることで、少しは島根と全国の距離が近くなったのではないかと感じています。

次年度も縁あって役割をいただいています。「先駆け」であることを常に心がけ、これからも松江YEGと全国32,000名の仲間を繋いでまいります。

結びに、松江を離れる事が多くても、いつも温かく応援していただいた全ての皆さんに感謝申し上げます。とても充実した1年半の任期でした。ありがとうございました！

YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。
 私たちはYEGとして、地域を愛し、^{にっぽん}日本を愛する。
 すべてのYEGは、連帯の証となる。

島根日産自動車株式会社 代表取締役社長

櫻井 誠己

YEGプロフィール

昭和63年に松江商工会議所青年部へ入会。平成3年の松江商工会議所青年部会長と島根県商工会議所青年部連合会会長を兼任した年度に松江で全国大会を開催。平成4年にはYEG宣言を作成し山形での全国大会にて発表。平成5年、第11代全国商工会議所青年部連合会会長。



日本商工会議所青年部と全国商工会議所青年部連合会

当時は全国商工会議所青年部連合会（以下 商青連）といって、各商工会議所の青年部が連合会をつくっているかたちでした。商青連ができて10年くらい経っていましたがあまり認知はされておらず、青年部（以下 YEG）は大都市よりも地方を中心に発足してきていました。それから数年後に認知され今の日本商工会議所青年部という名称になっています。

全国大会松江大会開催について

私は2年くらい松江青年会議所（以下 JC）も掛け持ちで入っていました。YEGでは全国大会の年度に会長を務めています。当時はJCとの掛け持ちやJCのOBも多く、その人たちとずっとYEGでやってきた人たちが一緒になって全国大会の3、4年くらい前からスケジュールを組んで進めていたのでわりとスムーズにいきました。準備期間には様々な場所を下見して会場を決めたり、他の全国大会も見に行きました。

松江での全国大会には日本商工会議所（以下 日商）の会頭だった石川六郎（当時 鹿島建設会長）さんが鹿島建設のヘリコプターで出雲ドームに降りられて、私たちも出雲ドームに迎えに行きました。石川六郎さんといえば日商でも特別な会頭でしたので粗相があってはいけないと、鹿島建設もいろいろ手配をして広島支店長もついて来られました。全国大会で会頭が動かれるのは、日商としてもかなりのことでした。

YEG宣言の作成過程

YEG宣言は平成4年の山形大会の時に大会宣言というかたちで出して、三重県津市の全国大会の年の4月から正式な文章としました。この年が商青連の会長だったので、その前年の山形大会でYEG宣言を発表しようと決め、副会長とYEG宣言の作成委員長を兼ねてやっていました。全面的に任されていたので、委員といっても当時の会長と副会長、専務理事くらいが委員に入っているだけで、特別に考える委員会を作ったわけではありませんでした。

三段階のものを作って唱和することで会員拡大を図ってこうと思い、「私は」は個人としての青年経済人の部分、「私たちは」は各地方のYEGの部分、さらに「すべてのYEGは」は全国のYEGをどう向かわせるかということで最後に「連帯の証となる」という言葉を持ってきました。

Young Entrepreneurs Group

YEGというのはYoung Entrepreneurs GroupとYouth、Energy、Generalistというこの2つの言葉の頭文字で成り立っています。これによって会の性格づけがされていて、その中で綱領や指針ができています。他の団体にはないのがEntrepreneurs（起業家）という言葉を入れたところで、商工会議所青年部を位置付けるには一番良い言葉です。商工会議所ですから各地の商工業者の集まりという考え方がベースにあり、「企業家」よりも「起業家」の色合いを持たせてEntrepreneursとなったわけですね。そう言う意味でYEGはEntrepreneursという言葉がついていますから、起業家精神を養うことが原点にあります。

私はEntrepreneursという言葉が非常に好きで、会社にもそういう考え方を活かしていかなければいけないと思っているので、「社長いつまでも元気ですね」と言われるんですが、元気である秘訣というのは、マイナスのことを考えるより自分で起こしていく、それが自分の生きがいになって、周りも巻き込んでいって、次の方向が見えてきます。YEGも数少ないそういう人たちの集まりにしなければならないと思います。

この単語はそれほど一般的ではないですが、YEGにとってはその原点であり、重要な言葉じゃないかなと思っています。

現役会員に向けて

当時、YEGは子供扱いみたいなところがありましたが、今は若い世代が何をやるかなという目があって、彼らがやっていることの方が一歩進んでいるみたいな位置付けに世の中が変わってきています。そういう面では、社会的にどういう発言をするかという部分もあって良いと思います。

YEGは、起業家。起業にも色々あって、0から起こして自分でやられた人もいるし、今の仕事の中でどう転換をしていくかというのがあります。そういう人の集まりなので、最終的には自分の本業で何かをやり、その延長で社会のことにどう目を向けるかというバランスを常に考えることがYEGらしい組織の持ち方じゃないかなと思います。

特集ページ
URL



令和4年度の活動



4月22日 4月定時総会



YEGの最高意思決定機関として、1年間の各委員会での活動方針や予算等の審議・議決を行います。松江YEG全会員が一同に揃う機会でもあり、今後の活動や目標を共有し士気を高めます。今年の4月定時総会も準備から運営を通して参加会員と協力をしながら、滞りなく無事に収めることができました。



4月22日 卒業証書授与式・祝賀会



この度9名の方が松江商工会議所青年部をご卒業されました。

演壇にてご卒業の方がお話される中、途中思わず涙ぐまれる場面もありました。

卒業される寂しさと、今まで熱い思いをもって活動されてきた気持ちが、垣間見える式となりました。



7月21日 納涼例会



コロナの影響で参加者が少なく、目的・主旨にある会員同士の交流に関しては限定的ではありませんでしたが、水郷祭の雰囲気は少しでも味わうことができ有意義な会となりました。

今年は直近の新型コロナ拡大のため、懇親会は別日に延期となり秋鹿なぎさ公園での開催となりました。



9月26日 水郷祭例会



「米子がいな祭り」を企画・運営する米子青年会議所様と、「よなごマルシェ」を主催されている米子商工会議所青年部様をお迎えしてご講演をいただきました。

大きなイベントを運営する中での様々な苦労やその解決の方法などの貴重なお話を聞くことができました。



10月28日 10月例会



松江市や親会へ向けた提言内容を考えるべく、数人のグループを作ってディスカッションを行いました。

提言という言葉の意味を再認識し、政策と提言という言葉の念頭に地域の課題を話し合い発表を行いました。私たちの住む地域をよりよくなる活動へつながる事業となりました。



12月23日 12月定時総会



令和5年度の会長「藤井浩太郎」氏をはじめ、選任された全ての理事が承認されました。藤井次年度会長からは、5年後に控える「松江YEG設立50周年」に向けて、中長期的なビジョンを描きながら、我々の活動をより一層活発にしていきたいとの熱い思いが語られました。



12月23日 忘年会



コロナ禍で希薄傾向だった会員同士の交流を図るとともに令和5年度へのYEG活動の機運を高めるために忘年会が行われました。数年ぶりの忘年会でしたが準備段階から前向きに取り組み、感染症拡大への対策をしつつも青年経済人の集まりらしいコロナを吹き飛ばすような賑やかな会となりました。



1月29日 地域支援事業



地域観光委員会の事業の一つとして、松江スティックビル1Fにて「松江YEGマルシェ」を開催しました。感染症対策をしっかりと行った上で、地元の食を中心に「作る人」と「お客様」を結ぶ場を創出し、地元松江の良さや魅力を再発見してもらうとよい機会になりました。



2月21日 2月例会



講師として加瀬健志朗様(株式会社CLIP取締役CFO)をお招きして「公園の利活用について」というテーマでご講演いただきました。実体験を交えた貴重な話を聞かせていただき、様々な職種が揃うYEGだからこそ多角的な視点をもって公園の利活用についての提言を行っていきたいと思いました。



政策提言活動



令和4年度の政策提言委員会では、松江市内の公園の利活用・PFI化に向けた施策をまとめた提言書を作成しました。公園を、我々民間と行政とが手を組み有意義に使うことで、より市民に寄り添う形の公園づくりができると考えています。引き続き松江YEGの政策提言活動を応援していただけますようお願い申し上げます。

令和4年度の 委員会

YEG

周年県連委員会



今年度は、松江YEG45周年と島根県青連の松江主管が重なる貴重な年でした。45周年記念事業として、9月に記念式典・祝賀会、記念ゴルフを開催いたしました。6月、11月、3月には全3回の県連事業が執り行われました。

総務広報委員会



定時総会（4月・12月）、会員手帳管理、理事会通信のようにYEG全体の基礎を支える事業とホームページや各種SNSの更新管理をする情報発信事業や商友（機関誌）作成のように内外へ活動を発信する事業を行なっています。

地域観光委員会



水郷祭事業、地域支援事業を主に担当します。水郷祭事業では特設ステージや屋台での飲食ブース運営を行います。地域支援事業ではマルシェを計画しました。松江の作り手とお客さんが交流する場を創る事で地元の魅力を知っていただけた事業になりました。

政策提言委員会



行政や親会に向け「商工業の発展に繋がる提言」を行う委員会です。
これまでに郷土愛の醸成を育む為に「まつえの日」の制定、危険な通学路などをハザードマップ化する「安心安全まちづくり」、また「人材不足解消について」の提言書などを作成してきました。

会員交流委員会



新入会員研修・会員増強奨励・会員交流事業の運営を担当します。また納涼例会兼懇親会、忘年会を実施いたしました。コロナ感染対策を施して可能な限り会員同士の交流活性化を図った1年間でした。

卒業生紹介

卒業文集はこちら▶



内部 健司
南ふたば芸社



大内 智弘
株式会社コスモブレイン



首田 省吾
南高浜印刷



首田 佳孝
南ヨネザワ写真館



馬場 祥二
南馬場印刷所



肥後 淳平
株式会社エブリプラン



三島 大樹
幹部



三成 聡
株式会社ホンダカース松江

令和5年度 会長挨拶

令和5年度 スローガン

感謝と挑戦 ～熱き志を持ち未来を切り開こう！～



令和5年度会長
藤井浩太郎

【好きな言葉】
縁ありて花ひらき、
恩ありて実を結ぶ

この度は松江商工会議所青年部（以下松江YEG）第40代会長の大役を拝命します重責に、身の引き締まる思いでございます。そして我々が現在の環境にて青年部活動が行える礎を築きあげて頂きました先輩方、さらに多くのご協力を頂いている関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

次年度のスローガンは「感謝と挑戦～熱き志を持ち未来を切り開こう！～」としました。令和5年度の松江YEGでは、これまでの経験を活かして50周年を見据え、次世代に想いを引き継ぐ為に、松江YEGの中期ビジョン策定に取り組みます。YEGは単年度制であり各年度の方針も様々ですが中期ビジョンを策定することにより、同じ方向性のもとで各年度の方針や体制を立案することとなり、会員に対する活動意義の共有を図ることが出来ると考えています。

令和5年度松江YEGらしく未来へ繋がる事業ができるように全会員一致団結し50周年へ向け青年部活動に邁進して参りますので、皆様ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

令和5年度 松江YEG役員紹介



会長
藤井浩太郎



直前会長
秋鹿 司



総務広報
副会長
藤本 真由



提言
副会長
村上 亮介



会員交流
副会長
石本 智久



地域観光
副会長
平野 恵介



ビジョン
副会長/
日本YEG出向理事
中ブロ出向委員
堰 大輔



監事
小藤 宏昌



監事
吉岡 利樹



専務理事
仙田 充利



総務広報
委員長
安部 瑞貴



提言
委員長
加藤 創



会員交流
委員長
田村 透



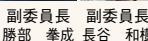
地域観光
委員長
藤原 冬子



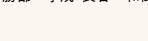
ビジョン
委員長/
中ブロ出向委員
影山 元紀



副委員長
犬山 達也



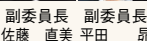
副委員長
勝部 拳成



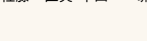
副委員長
長谷 和樹



副委員長
神庭 明広



副委員長
佐藤 直美



副委員長
平田 昂



副委員長
田口祐太郎



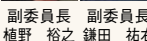
副委員長
武田 冬也



副委員長
中尾 一樹



副委員長
糸賀 悠平



副委員長
植野 裕之



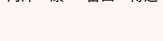
副委員長
鎌田 祐右



副委員長
河内 大輔



副委員長
河津 康一



副委員長
雷田 博之

新入会員紹介



青山 洋嘉
株協洋



石亀 節也
日本海テレビジョン放送株
島根総局



勝部 元基
株山陰中央新報社



金村 拓
一畑工業株



鎌田 祐右
株丸三 松江本店



川本 敬之
株RCクリエイティブグループ



小林 良二
東洋ソーラー株



坂本 貴志
環境デジタルソリューション株



坂本 裕太
LCC株



中尾 一樹
株鴻池組山陰支店



中山 佳祐
ALSOK山陰株



平井 謙太
株まつくる



平田 昂
南平田生花店

こんな会です 松江商工会議所青年部

松江YEG

<https://www.m-yeg.com/>

入ってて良かったネ! って言われます。一緒に青年部活動をしてみませんか?

我々、松江商工会議所青年部は、松江市内で商売を営む45歳までの商工業青年経済人の集まりです。目的は、松江市の健全なる地域発展のため、様々な事業を通して豊かで住みよい郷土づくりに貢献することです。そして、この目的のもと、多彩な活動をすることが、松江市民からの信頼を得て、青年部会員各社の発展につながると確信しています。松江市内において商売をする“あなた”、是非とも入会し、自己研鑽、情報収集そして幅広い人脈を得るため、我々と一緒に青年部活動をしてみませんか。

青年部会員一同



経営強化、ニュービジネスの発展・展開



Creative

多様化するビジネスの波を乗り切る!-----

地域経済を支える様々な方の講演会を始め、委員会独自の勉強会など松江商工会議所青年部ならではの企画で、ビジネスチャンスをキャッチすることが出来ます。

Community

愛すべき私たちの街、松江!-----

毎年夏に開催される水都松江の一大イベント「水郷祭」に参加協力、みんなで力を合わせ、汗を流し、地域のお祭りに貢献しています。又、それぞれの委員会活動を通して、地域経済の発展を考えています。

Communication

同じ街に生きる同世代の仲間づくり!-----

歌あり、酒あり、スポーツあり。各種レクリエーション企画を通じて、会員相互のコミュニケーションを深め、より楽しい青年部活動を目指しています。

活き活きた地域づくり

ヒューマンネットワークづくり

5委員会で構成されています

周年県連(委)

総務広報(委)

地域観光(委)

政策提言(委)

会員交流(委)

Q&A

青年部って どんなところ?

Q 青年部の目的は何ですか?

A. 各種講演会・勉強会を通じて青年経済人としての人格、教養および経営能力を高め企業の発展をはかると共に、商工会議所活動への寄与および、地域づくりに貢献していくことを目的としています。

Q 入会資格はどうなっていますか?

A. 松江商工会議所の会員企業に所属している45歳までの方なら、男女問わずどなたでも入会できます。地場産業の社長、後継者の方をはじめ、会社員の方も入会しています。

Q 会費はいくらですか?

A. 会費は年間48,000円(令和3年4月1日より)です。会費は当会の運営・活動費に充てられます。

Q 会合は月どのくらいあるのですか?

A. 全会員を対象とした例会等隔月1回程度開催されます。又各委員会が月に1~2回程度行われています。

Q 会員は何人いますか?

A. 現在94名(令和5年3月1日現在)です。

Q 組織運営はどうなっているのですか?

A. 委員会で討議された事業計画が理事会の承認のもと円滑に遂行されます。理事会は、会長・直前会長・副会長・専務理事・委員長・副委員長・監事によって構成され、月1回開催されます。そして全会員出席による最高決議機関である総会が年に2回開催されます。

入会をご希望の方は
こちら

<https://www.m-yeg.com/joinus>



商工会議所
青年部
公式HP



Instagram



Facebook

